

<パッケージイメージ>

- ・表面には石川県の地形をデザインして、石川県の特産品を使用していることをアピール。
- ・裏面には五郎島金時と能登大納言の説明を入れています。



表面



裏面の説明

<参考資料>

●五郎島金時

元禄時代末期(1700年頃)に五郎島で種いもを栽培したのが始まりと言われています。五郎島のさつまいもは早堀りとして形が良く色も美しく甘いと全国的に知られるようになり、昭和59年に「五郎島金時」と命名されました。

●能登大納言

奥能登地方独特の気候風土に育まれた小豆です。「こしあんにするなんてばちがあたる」と言われるほど、全国の数ある大納言小豆の中でも粒の大きさと宝石のような鮮やかな赤い色が特徴の小豆です。

●北陸MOTプロジェクトとは

北陸地区(富山・石川・福井県)の食材生産者(サプライヤー)やメーカーと共同で「地産地消」をコンセプトに商品の企画・開発を行うプロジェクトです。JIMOTO(じもと・地元)、MOTTO!(もっと)、MOTTAINAI(もったいない)から名付けられました。「もったいない」の思いとともに、「地場作物の消費量UPへの働き掛け」等の活動を通じて、「地産地消」を推進しています。MOTプロジェクトは、北陸のほか、静岡・信州・四国・青森・北海道・宮城の全国7地域で展開中です。今後、順次エリアを拡大していく予定です。



ロゴマーク

●石川県の戦略作物について

石川県では、今後、特色ある県産農産物のブランド化を牽引していくことが期待できる作物として、「能登大納言」「中島菜」「源助だいこん」「金時草」「ルビーロマン」の5品目を戦略作物として位置づけています。すでにブランドとして評価を得ている「五郎島金時」「加賀丸いも」などとともに、食材の特徴を生かした、生産及び販路拡大に取り組んでいます。

サークルKサンクスでは、これまでも五郎島金時を使ったプリンやパン、戦略作物である中島菜を使ったカレーなど、石川県の特産品を使ったオリジナル商品を販売しています。